

WIN^{CONCORD} コンコード NEWSLETTER

鬼を^{おも}惟う

陶芸家 目黒 威徳

立春の前夜、節句の代り目をさして節分という。四月半ばを過ぎて、節分だとか鬼だとかは少々筋違いかも知れないが鬼を慕う気持ちには変わらない。

子供のころは、あちらこちらで「鬼は外、福は内」と奇声を発して豆を投げつけていた。

近頃は、その大声も聞かれなくなった、昔は夕暮れからは家を出ることも出来なかったような気がする、鬼との出会いを考えたからのことからだろう。

災難にあうという迷信が残っていた。豆を投げつけられた鬼は、何処に逃げて行ったのか、どうしているのか、子供心にふとそのことが思い出された。

小学校五、六年生まで、「鬼ごっこ」などと云う遊びをしていた。

ジャンケンで負けた一人が鬼になって、誰かをつかまえる、その子と二人で手をつなぎ次のを追う、つかまえると又手をつなぎ、三人四人と横に長く手をつなぎ、逃げる子を追う。

十、十一、十二人と長い長い手のつながった鬼が出来る、楽しくて面白いゲームだった。

鬼をつくって遊ぶゲームは沢山他にもあった。

鬼にかかわることを拾いあつめれば、きりが無い、(一寸法師の民話)(桃太郎伝説)等々、夢があり、心温まる話だ。

大津絵にみられる鬼の念仏などはその最もたる物語でもある。

鬼の豊かな宝物の存在を忘れていたのではない。

明治、大正、昭和と大勢いた鬼神、鬼才が、高天原の岩戸に隠れてしまって世に出てこなくなってしまうのか。

昭和初頭までは、その鬼は出没していた。鬼のいぬ間

の洗濯ではないが、平成には鬼の姿がとんと見えない。

「長谷雄草紙」と云う面白い話がある。平安初頭、貴族ながら学者で名を成した一人物がいた、紀長谷雄(きのはせお)と云う男である。

ある夕方、内裏に出勤しようとしていたところへ、異様な風体の男が訪ねてきて、長谷雄に双六の勝負を挑んできた。

長谷雄もまんざらではなく勝負にのる。男は絶世の美女を長谷雄のほうに全財産をかけての勝負となった。場所は鬼が出没する朱雀門の楼上、双六は白熱し、なかなか勝負がつかない、熱中するうち男は次第に鬼と化してくる。

そして、長谷雄は明け方その勝負に勝つ。後日男(鬼)は、約束通りの絶世の美女を連れて長谷雄邸にやってくる。

鬼は一つの条件をしめす、(美女には百ヶ日抱いてはいけない)、それを守るように約束させられる、長谷雄もその条件を承知する。

しかし、八十日目について我慢出来ず、もうよかろうと美女を抱いてしまう。

瞬間女はたちまち水となって溶けさってしまう。

鬼は最良の人骨をあつめて造った、絶世の美女を、長谷雄を見込んでわざと双六で負け、あたえられたその女を、長谷雄は失うはめになる。

平安の中期、西行も高野に登って鬼との勝負を行っている。当時は、鬼神、鬼才は至る処にいたようである。敬虔な恐怖に似た鬼をみつけ出して勝負してみたい。何処かにいるはずなのだ。

平成十一年、この年に皆さんとそれを見つけだしませんか。

私の国スリランカ

チャンパ ルバニ

(スリランカ)

私はスリランカから来た留学生です。1年前和歌山大学の大学院に入学しました。日本に来たばかりの時、よく聞かれたのは「スリランカはどんな国ですかという」ことです。大多数の日本人はスリランカについてあまり知らないらしいのです。

スリランカは、インドの南にあり、島国です。経度は79.42 から 81.52 まで、緯度は 5.55 から 9.51 までの赤道の北にあります。国土の面積は日本の 8 分の 1 ぐらいで 65, 610k m²です。人口は凡そ 1,700 万人です。72%がシンハラ人、18%がタミル人、7%がムスリム人、1%は他の人種になっています。宗教について考えると 69%が仏教、15%がヒンズー教、8%がイスラム教、7%がキリスト教と 1%は他の宗教になっています。

スリランカの首都はスリジャヤワルダナプラコウッテと言う市ですが商業の中心地はコロンボです。日本の人はセイロン島のコロンボと言えばよく知っていると思います。セイロンは紅茶の「セイロンティ」で有名ですから。首都 1978 年コロンボから今のスリジャヤワルダナプラコウッテに変わったのです。

1948 年にイギリスから独立した時は農業の国でした。産業の発展は今から 10 年ぐらい前から始まりました。そして今は、主な輸出品は織物はアメリカ、農産物の紅茶、ココナッツはイギリス、宝石、装身具は日本にも輸出しています。

スリランカは赤道の近くにあるので平均気温は高いのです。たいてい 27℃～29℃です。中央の山岳地帯では気温が低くて平均気温は 20℃未満です。ヌワラエリヤという市は海拔 2,000m の所にあります。平均気温は 10℃ぐらいでとても涼しいのでイギリス人が住み、イギリス的な町に作っています。今はスリランカ人が住んでいますが、イギリスを思い出せる所です。良いゴ



ルフコースがあり、きれいな花、果物とか野菜などができます。ハグガラという植物園もありバラとベゴニアが有名です。もう一つの特色のある所は「カンデイ」という市です。仏舎利が置かれてお寺があります。近くにカンデイレイクという湖もあるのできれいな所です。宗教的、文化的に重要な所としては「アヌラダブラ、ポロンナルワ、シイギリヤニガンブ」という昔の市です。南西海岸と東海岸は浜辺、砂浜がきれいでスイミング、ダイビングなどで有名な浜辺です。

スリランカは日本のように季節の変わりがありません。それでも、あなたがたがスリランカに旅行するなら何時でも良いと思います。スリランカには、レイニーシーズンとドライシーズンがありますが、レイニーシーズンといっても全国的ではなく、また日本のように一日中雨が降り続くということがないからです。あなたもいつかスリランカへ来て下さいね。

アアヌボウワン (では)

私の母国

ミンミン ウー

(ミャンマー)

私の母国ミャンマーはバングラデッシュ、インド、中華人民共和国、ラオス、タイの国境に接しています。首都はヤンゴンで、言語はミャンマー語と英語を使用します。人口は 4, 640 万人、面積は 68 万平方キロメートルです。ミャンマーでは、人口の約 70%はミャン

マー族で、シャン族、カレン族、モン族、カチン族、チン族、カヤ族とその他に 50 以上の少数民族が存在しています。民族によって言語や宗教、文化がちがいます。しかし、ミャンマー語は少数民族も含めてほぼ全域で使われている国語となっています。宗教として 87.8%は佛教でその他はキリスト教、イスラム教、ヒンズー教があります。

私が住んでいるモググ市は、ミャンマーの北部で海拔 1,500 メートルの高地にあります。私はシャン族です。私は、小学校の校長先生をしています。私の学校は、先生が 15 人、児童が 542 人います。教室は、13 部屋あります。学校では児童は多いし、先生は少ないので、とても忙しくて大変です。

季節は 3 つにわかれています。暑季は 3 月から 5 月までで 4 月が一番暑いです。雨季は 6 月から 10 月までで、乾季は 11 月から 2 月までです。気温は沿岸部、デルタ地帯は 32℃、低地中央部は 21℃です。ヤンコンは平均 30℃、降水量は平均 2,530mm である。

ミャンマーでは小学校は 5 年間、中学校 4 年間、高等学校は 2 年間です。小学校は義務教育で、中学校はありません。しかし、中学校に行かない人は職業訓練学校 (vocational school) に行きます。大学は基本的に 4 年ですが、専門によって 5 年、7 年もあります。



ミャンマーの学校はすべて国立学校です。学校は 6 月から始まり、6 月から 9 月までは 1 学期、10 月から 12 月まで 2 学期、1 月から 3 月は 3 学期にわけてあります。1 学期は PTA meeting と Prize ceremony がありまして、2 学期には運動会があります。そして、3 学期には厳しい進級試験があります。4 月と 5 月は夏休みです。

*MYANMAR (ミャンマー) という意味は国内のミャンマー族、シャン族、モン族、カチン族、チン族などすべての民族をしめします。

BURMA (ビルマ) はいろいろ民族の中からミャンマー族 (ビルマ族) だけを指す。

WINを通じて得た友人

岡本 忠典

(日 本)

初めてWINと出会ってから 2 年半程になります。最初に小坂さんと出会ったことから始まります。おかげで多くの恵まれた人と出会ったと思っています。

多くの留学生の人と知り会えた事は、私にとって大変幸福だった様に思います。特に外国文化に興味を持っていたので得るものは大きいです。普通に生活しては、この様な事もなかなか経験できないと思います。

留学生を京都に案内した事は楽しい思い出になりました。私の学生時代の後輩に留学生を紹介したところ、大変楽しみ喜んでいました。留学生と後輩で京都を回り、貴重な経験も出来たと思っています。その他もたくさんの思い出があります。

留学生の人達には、大きな可能性を感じます。大きな可能性を感じる友を持つ事が出来た私は、本当に恵まれていると思います。

和歌山での生活

スパホ エディ

(アルバニア)

皆さんは、複雑な心境になった事がありますか？私は今、まさにその状態なのです。日本での時間はアッと言う間に終わりにきてしまいました。後わずか2週間しかありません。時間は一体どこに行ってしまったのか…と思います。心の一部では、家に帰って旧友たちと会ったり、アルバニア料理を食べられる事を考え、嬉しいのですが、その反面、もう一度日本の地に足を踏み入れられる機会があるのかを考えると、不安にならずにはいられません。

とにかく日本に滞在した事で、これからもずっと宝物となる様な、沢山の新しい経験や思い出が出来ました。大阪外大から和歌山に来て、初めの頃は、夜の娯楽生活が存在しないこの様な田舎で、どんな生活を送るのだろう…と少々不安に思っていました。しかし、和歌山の夜の娯楽は、大阪ほど魅力的ではないけれど、人間味のある温かい所だということが分かりました。和歌山で知り合った日本人の友達たちは、和歌山での生活を素晴らしいものにしてくれました。もちろん、外国人の友達たちの事も忘れられません。

帰国するとなると、日本での色々な事が恋しくなります。でも、懐かしいと思わない事を少しリストに上げてみると、まず思い出されるのが、「受信料を払って下さい！」と一軒一軒回ってくるNHKの人。次に、「アルバニアはどこにありますか？」という質問。(私はこの質問に200回以上も答えてきました。)それから、「日本語が上手ですねえ。」というお世辞。それに対して、「いえ、いえ、そんな事ない。」とよく言ったものです。

では、その反対に恋しく思う事をいくつか上げますと、まず、マクドナルドで「いらっしゃいませー！」と声を揃えて歌っているような女性の店員さん達。帰国しても、彼女達のトーンを忘れないでしょう。そして、いつも私の事を何でも知ったがったおばさん達の事も、



もちろん忘れません。それから、幼い子供が興奮して、私の方を指差しながら「見て、見て、ガイジンさんだ！」と言っていた事も、ホストファミリーのお母さんが私の為に、毎週金曜日に作ってくれた美味しい料理の事も、全部忘れません。

沢山の事を恋しく思うでしょうが、中でも和歌山での平和な生活と、優しい人々の事を一番懐かしく思うに違いありません。私の和歌山での生活を素晴らしい物にしてくれた皆さんに、お礼の気持ちで一杯です。そして特に、WINの皆さんには色々と助けて頂き、心から感謝しています。皆さん、どうも有難うございました。さようなら、また会う日まで、お元気でね。

訳 松島 美恵



父祖の地に留学して

大石 エリカ

(アルゼンチン)

WIN コンコード Newsletter の読者の皆様、初めまして、私の名前は大石エリカです。アルゼンチンから出たのは去年の4月20日でしたが、もうすぐ1ヶ月間になると言うことです。時間がこんなに速く立つと感ずるのは今初めてです。

祖父母と父は日本人なので日系の三世です。生まれた時から日本の色々な話を聞き、小さい頃から日本に来たかったのです。又、スペイン語より日本語の方を先に覚えました。しかし、幼稚園に行き出したとたん、だんだん日本語の方を使わないようになって忘れることもありました。残念ながら、父親と話すのも恥ずかしくて両親としゃべる時は何時もスペイン語でした(答えるのは)。でも、しょっちゅう注意されて日本語の勉強も続けて毎週通っていました。

「日本人の顔をしているのに日本語を話せないと言うことは恥です。」と言われていました。その頃はあまり言うことをやっていなかったのですが勉強と関係があれば必ず「はい」と答えないといけないと思っていました。「あなたの仕事は勉強だから」それは当たり前でした。祖母からも日本の沢山の話を聞いていたので「日本って実際にどんな国かな」何時も頭で想像していました。でも何よりも自分で来て見たかったです。

いよいよ日本と日本語に興味や知識も増え、出来るだけ早く来たかった。私の先祖の故郷、場所、血、人生、文化・・・全部知りたかった。そして去年の話ですが、ブエノスアイレス(首都)にある和歌山県人会にお世話になってやっと日本に来られる夢が揃いました。幸せだなと思いました。これは(和歌山の県庁から許可を受け取ったからです。)

飛行機で一日半位かかって関西空港に到着しました。最初の印象は「日本はとてもきれい」と思いました。又、和歌山もとても良い所だと思いました。山、川、海もあるし、自然はとてもおだやかな気分がしました。



(写真中央)

都会でもないし、ゆっくりして生活出来ます。それは、大切でした。それで、私の町(マル デル プラタ)に似ているからです。すぐこの素晴らしい和歌山に慣れて、方言も分かるようになってこちらで住むのも楽しいです。

最初は友達とかもいなかったんで少しつまらなかったです。しかし、大学の日本語の授業を取ってみんなと少しずつ話すようになって良い友達も出来ました。それで着いてからすぐ、WIN Concord という団体からのお手紙が届きました。パーティに誘われたのです。どんなに嬉しかったと思いますか、皆さん? 100%でした。ものすごく楽しみにしていました。その時から違う留学生と知り合って今は友達です。

けれども、WIN Concord の皆様はそのパーティだけではなく、それから色々なイベントと活動を考えて、留学生のため一生懸命働いてくれました。とても有りがたいです。様々な所を知り、今なら心の奥に良い思い出が山ほどあります。

みんなとても忙しいのに手伝ってもらったらどんな気持ちになりますか? もちろん、私みたいに感謝していると思います。この会のおかげで和歌山の沢山の思い出が出来ました。

WIN Concord 今までのこと、永遠に忘れない!! 色々どうも有難うございました。ぜひ、アルゼンチンに行く機会があればお電話下さい。待っていますから。

和歌山での思い出

キッサナ コンティアブ

(タイ)

私は、1998年度の日本大使館からの奨学生に選ばれたので、いろいろと準備しなければならなかった。もちろん日本語もです。タイではラジャブハット・フェッチアブリ研究所ですばらしい教授の授業を受けたので、日本に来てからコミュニケーションに問題はないと思っていた。とにかく、いままで自分の頭がいいとは思わなかったし、経験のある人がたくさんいる中で私が選ばれたのは、信じられませんでした。

日本に来ること、それは何を意味するかわかりますか。それは、私の人生にとって、とてもすばらしい経験です。タイでは経験のできないことがいっぱいあります。日本航空728便に乗り、1998年4月27日、日本に着きました。和歌山大学の先生が、関西空港に迎えに来て、寮まで送ってくれました。その先生が、私のゼミの先生でした。いつも私は、先生のクラスに出席していましたが、私は日本語の能力のなさに悩んでいました。先生は新幹線のように速く話されるので、私には、先生のおっしゃることがよくわからなかったからです。未だに、先生と会話するときは、まだまだ日本語がうまくないと思ってしまいます。でも、誤解しないでください。私は先生と会話したことや、色々教えていただいたことに感謝の気持ちで一杯です。

他にも、思い出深い大好きな授業がありました。それは、外国人のための日本語講座です。先生は、私の日本語の能力を把握してくださり、丁寧に説明をしてくださったので、授業のすべてが理解でき、とても楽しく大好きな授業でした。

最後に私の日本語を、より進歩させてくれた先生に出会いました。先生は日本語をどのように使ったらいいかを教えてくださいました。そして、エッセイの書き方をいつも直してくださいました。残念なことに、先生と知り合って、すぐにタイに帰国する日が来ました。私の人生の中で、日本で生活した最初の日々を決して忘れないでしょう。小さくて、かわいい、たどたどしい日本語を使うタイ人を知っている人がいたなら、それはきっと私のことに違いないでしょう。日本語で肉を買いたいとき、何と言っているかわからず、ボディランゲージとアイコンタクトで一生懸命相手に話しかけ、誤解されて、相手に一目惚れしたと思われたこともあります。しかし、神様は私に日本人より大きな目を下さったので、視線で色々伝えることができました。

1999年3月31日に、私はタイに帰ります。色々な経験ができた和歌山と、多くの日本人の方々と知会えたことは、私にとって素晴らしい思い出であり、財産です。いろいろとお世話になり、皆様に本当に感謝します。



TOYOTA 工場の見学

ノール シマ

(マレーシア)

今年のWIN CONCORDの豊田の見学とスキー旅行に楽しく行って来ました。

金曜日、2月19日の朝、みんな会館に集まって、観光バスで名古屋へ向かって行きました。冬だったのに、そのとき雪ではないが、雨が降りました。

6時間ぐらいで、豊田会館に着きました。詳しい案内を豊田のスタッフからしてもらって、質問もちゃんと答えてくれました。展示コーナーの案内は：

- 1) トヨタと環境
- 2) トヨタと安全
- 3) テクノスコープ
- 4) R&D ツアター
- 5) パーチャルファクトリー
- 6) ITS
- 7) カーデザインスタジオ
- 8) 先進の自動車技術
- 9) 新車ショールーム

その後、休憩のとき、質問しながら、昼ご飯を食べました。

そして、次に見学した場所は豊田工場でした。あそこで、精密な機械、難しい機械的な技術をはじめて見ました。自分の目の前で、自動車ができました。

この夜、三重県のグリーンホテルというところに泊まりました。温泉にはいたり、カラオケをやったりして、すごく楽しかった。鍋もおいしかった。一日中の旅と見学で、つかれて、よく寝ました。

次の朝は、待っていたスキーでした。スキー学校の先生のおかげで、初めてやる人でもうまくなりました。後で、リフトに乗って、もっと高いところへ行きました。本当に、怖かった。でも、降りるしかないから、がんばりました。何度も、ころびましたけれど、とっても楽しかったから、痛みも気がつかないで、やりました。

帰るときは、体全体が、疲れて眠くなりましたが、まだがんばって、カラオケを歌っている人もいました。これは、私の初めてのスキーでしたから、すごくいい思い出になりました。WIN CONCORDの方、本当にありがとうございました。みんな、また冬旅行に行きましよう。



新留学生紹介

大学院の部

・蔡 奇 順

台湾／教育

私は台湾の台北から参りました。今年から2年間の美術教育について勉強する予定です。彫刻の専攻中心ですが、絵画とデザインもやります。特にデザインを使ってコンピューターで、彫刻作品のイメージに作れることが非常に興味があります。もしチャンスがあれば、ぜひとも皆の経験を交換したいと思います。

・Rodrigo Diaz Diaz

チリ／教育

Hello! I am Rodrigo. I am 29 years old. I am from Chile (Santiago City). I am a religion teacher in the elementary school. I came to Japan six months ago and began studying Japanese at Osaka Gaidai. Now, in Wakayama University, I am studying Morals and Education. I plan to stay in Japan one more year. I like to visit a lot of places on my bicycle. I like Wakayama a lot and I enjoy cooking, watching TV and reading books.

・李 俊 衡

韓国／教育

私は、研究生として今年4月から勉強することになりました。異国に住み、生活することは、やはり大変だと思っていたのですが、まわりの親切な日本の方や留学生たちからいろいろ助けていただいているので、いつも感謝しております。「自己紹介」と言う言葉だけで30歳になった私にとってはなんとなくつかしい思い出もありますが…。とにかく、韓国の大邱(テグ)生まれ、地元の大学卒業後7年間小学校の教師として生活、趣味は旅行そのくらいかな…。国と国の関係のように人間と人間の関係と言うことは、よく知らずに判断できないということだと思って、できればおおぜいの人々と出会って、形式的な、ぎこちない挨拶ではない、心からの真実な対話を望んでおります。よろしく願います。

・ジェンジュアバジット スピン タイ／経済

みな様、はじめまして。私の名前はスピンです。Pinkとよんでください。どうぞよろしくおねがいします。

Hi! Everyone. How do you do? I feel excited to become a new member of Wakayama city and would like to join with you in as many activities as I can. I have been in Japan for 6 months and these 6 months for me have passed really, really fast. I feel like I came here "yesterday" as I have enjoyed everyday in Japan. Japan is unique in terms of system and technology and there are a lot of interesting things to learn here. I am now learning Japanese language and trying to communicate in Japanese as I'd like to discover more about Japan. 今、日本語がんばっています。これからたのしみね。

・コンルアン チュリラート タイ／経済

私はタイの南のソンカラーという県から来ました。外国で生活するのは大変なことだと言われます。でも私にとって外国で生活するのは日本が初めてではなく、実は日本へ来る前に、東南アジアからの友達と一緒に一年間マレーシアで日本語を勉強しました。その時、私達はまじめに勉強だけでなく、いつも自分の国の料理を作って一緒に食べたり、スポーツ大会をしたりしていました。または休みの時、いろいろな所を旅行しました。その一年間は忘れられないほど楽しかった。自分の経験によると、私にとって外国で生活するのは面白くて楽しいことだと思います。外国人の友達ができるとか、他の国の習慣が分かるとか、それがいい経験をもたらすはずだと思います。つまり自分の世界が広がります。その理由によって私は日本へ来ることになりました。日本で専門を勉強するだけでなく、日本の習慣や日本の料理なども勉強したいと思っています。今から二年間日本にいますので、たくさんの友達ができたら嬉しいと思います。だから皆様に会うのを楽しみにしています。それではじめましてどうぞよろしく願います。

・Roslan Sharif

マレーシア／経済

こんにちは。I'm Roslan Sharif from Malaysia. I arrived in Japan in April last year. As I didn't know Japanese language before I came here, I had to study the language at Osaka Gaidai for 6 months before I could come to Wakayama to study at

Wakayama Uni. I would like to thank WIN Concord for helping me during my early days in this prefecture. Actually, this is my first experience studying abroad. My intention is not only to obtain knowledge on education, but also to experience the Japanese culture as well as the life and custom. The food is very impressive with its decoration and presentation. It's no wonder to me that I like to eat sushi, takoyaki and some bento. I also like travelling to see as many places as possible. So far, I've travelled to Tokyo, Yokohama, Shiga, Kyoto, Kobe, Mie, Tokushima and Ikine. And I'm looking forward to seeing some other places. Besides that, I like making new friends and seeing some other new faces. はじめまして、よろしくおねがいします。

I look forward to an enjoyable stay in Japan.

・野島 アンドレ 義明 ブラジル/経済

初めまして、ブラジル東北にあるレシフェ市から来た野島です。レシフェは、一年中気温が高いので、日本の冬には吃驚しましたが、和歌山に来てみたら暖かい所なので少しほっとしています。レシフェ市も海岸地で、海、山、畑などが多くあります。川も町の中を流れていて、ブラジルのベニスとも言われています。町は、そんなに大きくなく、和歌山市と似ている所が凄く多いので、ホームシックにもかからずに済んでいます。講義は大変ですが毎日楽しくやっています。よろしくお願いします。

・陳 偉 忠 中国/経済

私は3月31日に日本に来ました。日本は初めてです。専門は経営学です。今まで日本語を二ヶ月ほど勉強しましたが、日本語が上手ではありません。それで、日本語を勉強しています。他にいろいろな専門授業をしていますが、毎日少し疲れます。私の家族は私を入れて7人です。父と母、兄2人、姉2人と私です。私は末っ子です。私の誕生日は10月21日です。その時、北京が一番きれいです。私は楽しく誕生日を迎えます。私の趣味はスポーツです。スポーツではバドミントンが大好きです。少し上手です。その他に、海で泳ぐのが好きです。友達と一緒にスポーツをするのが私の希望です。

・朱 平 国 中国/経済

私は朱平国と申します。国家公務員として中国の農業部で勤めている。今年の3月に北京から日本へ留学にやって来ました。私は今年32歳で羊年の生まれです。ふるさとは中国の湖南省で沢山の名人が生まれた地方です。例えば毛沢東や朱鎔基など。私の家は妻と息子、それに私、三人家族です。今、彼らは北京に住んでいて、私はよく彼らを懐かしく思っています。私の趣味は色々なスポーツと読書と囲碁で、あまり上手じゃありません。大好きな食べ物は唐辛子です。本当です。日本へ初めて来て、言葉や習慣の違いから失敗ばかりしている。でも、自信を持ってがんばれば上手になれる。日本人や外国人といいい友達になるのを楽しみにしています。ぜひ教えて下さい。中国では、名所が沢



山ありますね、ぜひ遊びに行ってください。

・潘 中 澤 中国／経済

私は日本に来るまでに広州市にあるアメリカの大手電話会社AT&Tに勤めていました。経理担当でした。本社及び世界各地の支店ともよく連絡をし、経理情報の交換を行なって専門知識を身につけることが出来ました。中国改革開放につれ、市場経済は目覚ましい発展をとげ、外国企業の対中国投資が年々増えてきています。会社によって経営方式は簡単から複雑に変わり、経済の専門知識がとても不足していることを痛感しました。従って日本の大学院で系統的に経済の専門知識を勉強したく留学を決意しました。私は積極的な性格だと思います。趣味は文を書くことです。海鮮料理が得意です。今、熱中していることは生け花です。次は、お茶をやってみたいと思っています。私は好奇心が強く、いろいろ体験してみたいので、多くの日本人と交際したい。私は日本に来た初めの時、日本語がぜんぜんわかりませんでした。私の姉の日本のお母さんと話をする時、紙に漢字を書きました。でも話が通じません。でも、お母さんはとても優しい人で、何回も説明して下さいました。日本でこんな優しい人と会うことが出来て、本当にうれしいです。今年、和歌山大学に合格して、和歌山に引っ越して来ました。私は一人生活を始めたので難しい事がいっぱいあります。将来国へ帰ったら日中両国の間に掛け橋の役割を果たせれば良いと思っています。

学部生の部

・ザレブスキー ルーク オーストラリア／教育
皆さん、こんにちは！オーストラリアのルークと申します。今年は普通の日本人学生と一緒に勉強のために和歌山大学に入学しました。日本語と長い付き合いを持っている（8年間ぐらい）が、やはり大学の講義でまだまだ分からない所が多いです。しかし、努力をしながら4年間勉強して、卒業するつもりがあります！！けれども、勉強だけではなく、日常生活でも頑張りたいです。日本という国が大好きなので、日本人の友達や色々な国からの友達をたくさん作りたいと思います。ぜひ、機会があれば、私に連絡をして下さい。どうぞ、よろしくお願い致します。

・スリ アスマワティ マレーシア／経済

Hi! 私の名前は、スリ アスマワティです。マレーシアで全ての人が私をスリと呼んでいます。しかし、今日本人はほとんど私をワティと呼んでいる。二つの名前も大丈夫です。生まれた州は、マラッカです。一番歴史的な州ですから、たくさん外国人がマラッカへ来ます。昔はいろいろ外国人がマラッカへ来て貿易をしました。マラッカは日本で京都のような所です。博物館がたくさんあります。両親はマラッカ人です。兄弟は6人で私は末っ子です。お兄ちゃんが2人とお姉ちゃんが3人います。今、別々に住んでいる。家には母と父だけがいる。とても寂しいですよ。父は先生ですが、もう退職しました。母はあまり寂しくないです。私の兄はアメリカの留学生でした。だから私もそうになりたいです。日本はとても好きな国ですので、日本の留学生になって、4年の後、マレーシアへ帰って自分の会社を作りたいと思います。マレーシアを愛しています。

・Hamza Haffies Bin Ismail マレーシア／システム

はじめまして。私はハムザと申します。光メカトロニクスという学科を学んでいます。マレーシアでは「日本はみどりがとても少ない」と聞きました。けれどもそうではありません。私は関西空港から国際交流会館までバスに乗って来て、そこからきれいなみどりがたくさん見られました。川もきれいです。私は4年間で友達を多く作りたいと思います。留学生としてももちろんこの生活は大変です。でも大学で勉強するだけではなく日本人と、ほかの外国人とも一緒に生活してマレーシアの文化とくらべて考えた方がいいと思います。

・濮 思 亮 中国／システム

私は中国の上海から参りました。中国で上海大学通信情報工学部を卒業し、去年日本へ来て、今年から情報通信システム学科の研究生として勉強しております。私は趣味がいろいろあります。テニスとか、カラオケとか、何でも少し出来ます。特に音楽を聞くこととオートバイが一番好きなんです。もしよければ、ぜひ私の部屋に遊びに来て下さい。お待ちしております！

パプアニューギニアの惨事

アントン ファホロ

(パプアニューギニア)

1998年7月17日金曜日の夜も、いつもと変わりなく、シッサノの海辺は穏やかでよく晴れわたった空に星が輝いていました。その晩の海面は異常に低く、いつもは水に隠れる砂浜やサンゴまで見えました。人々はそれまでこんなに潮が引いたのを見たことはありませんでしたが、何か他の原因だろうと思って、大惨事になると考えた人は誰もいませんでした。そして津波がやって来たのです。

波が押し寄せてくる音を聞いた時、ほとんどの家では夕食を食べているか用意をしているところでした。波の音は最初は小さく、段々と大きくなりました。津波の轟音はジェットエンジンようだったので、子供達は低空飛行のジェット機を見ようと家から飛び出して行きました。しかし驚いたことに36m以上もの巨大な波が押し寄せて、初めの一波が超スピードで浜辺を襲った時、悲鳴をあげるだけで、何が起ったのかわかりませんでした。津波は100km沖で発生したマグニチュード7の地震によるものでした。津波は午後7時に起こり、数千人の人々が死亡し、多数の人々が家を失いました。

国際社会の対応はすばやく、オーストラリア、ニュージーランド、日本、米国、フィジー、フランスは救助隊を派遣してくれ、けが人や被災者の搬送や遺体の捜索にあたってくれました。緊急医療援助をしてくれた国々もありました。パプアニューギニアで操業している鉱山や石油の会社も政府チームに協力するため救急隊を被災地に派遣しました。

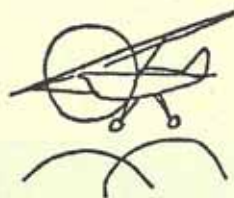
シッサノ地区の住民1万人のうち約3千人が死亡し、死者の多くは子供達でした。津波は時速800km以上の速さで浜辺を襲い、死者は35kmにも広がっていました。2kmの内陸まで波が達した所もありました。死者の数は4千人に達するかもしれないと救急隊はみえています。

熱帯の暑さとマングローブの湿地のために死者の確認が不可能だけではなく、死体の損傷が速いので、病気を防ぐため1週間後にシッサノ地区全体を密閉しなければなりません。この地区は今も立入禁止です。腐乱した死体がパプアニューギニアの他の海岸やインドネシアのイリアンジャヤでも見つかりました。

これは多くのパプアニューギニア人にとって決して忘れることのできない惨事です。

ここ和歌山ではWINコンコードと私は日本に留学しているニューギニアの学生と相談して、パプアニューギニアの津波被害に対する寄金を訴えました。8月1日と2日、土曜と日曜、私達はJR和歌山駅に立ち、暑さの中、支援を訴えました。そして和歌山の人々から言葉で言い表せないほどの支援をいただきました。個人的にもパプアニューギニアの津波の犠牲者に対する祈りと善意と寄金をいただきました。どうもありがとうございました。

また募金について大変お世話になったWINコンコード会員の方々や仲間の学生、ロータリークラブ、ロータクトクラブの皆さんにも厚くお礼申し上げます。



アイタペ津波募金の報告

ウィリアム トンガム

(パプアニューギニア)

和歌山県の人達がパプアニューギニアの津波についてアントン・ファホロに多大のご支援を下されたことに対し、この国に来ている学生及び友人達によって行われた募金活動の会長として、厚くお礼申し上げます。皆様方がお示し下さった哀悼のお心と深い関心、お忙しい中、募金活動や物資財政支援を頂き何とお礼申し上げます。よいかわかりません。

ご存知のように、この惨事により三千人以上もの人命が奪われ、家を失いました。又、他の社会施設も完全に破壊され、生存者も大変劣悪な生活になっています。国際ボランティアグループや各国、パプアニューギニア学生の友人達と海外の家族の救援は絶大で、オーストラリアと日本は救援と医療チームを派遣し、避難に当たってはニュージーランドや米国も加わりました。オーストラリアと日本は今も復旧計画の指導に当たってくれています。

私達の募金活動は終了し、財政援助と物資を被災者に配るためにパプアニューギニアへ送るところです。パプアニューギニア学生の最近の会議で、破壊された3つの小学校のうちの1つを建築することに決定しました。連絡が取れ次第、一人の学生をアイタペに派遣して、被災者の調査をし、次に何をすべきかを検討します。

次の各県から財政支援をいただきました。

静岡	800, 000 円
和歌山	637, 879 円
新潟	321, 000 円
仙台	500, 174 円

合計 2, 243, 053 円頂きました。頂いた寄金の詳しい報告は後日、アントンファホロからさせていただきます。このように多額の寄金をいただくことができましたこと、あらためてお礼申し上げます。惨事の時に日

本にいたパプアニューギニアの学生にとって日本の皆さんのご親切は決して忘れることはありません。

私自身も多くの皆さんから寄金をいただき、又、状況を探る電話をいただいたことを忘れることができません。私が学んだとても大切なことは、どんなに遠くに離れていても人々の心は同じだということです。

アイタペの津波の被災者、日本にいるパプアニューギニア学生、和歌山のアントンを代表して、アントンの和歌山の友人の皆さんに厚くお礼申し上げます。

訳 松下 勤



1998年度活動経過

4月11日	新入生歓迎花見(和歌山城)
5月16日	WINコンコード総会・交流会
6月27日	JA ジュース、浜口吉左衛門邸 中野酒造社長久見学
8/1~2日	パプアニューギニア被災者を支援する会の義援金に協力
8/22~23日	サマーキャンプ 清水町(海瀬様宅)
11月 8日	大学祭 模擬店協力
12月23日	忘年会(ボーリング、カラオケ)
1/1~3日	お正月 ホストファミリーのホームパーティ
2/19~20日	会社見学とスキー旅行 (トヨタ自動車、御在所岳スキー場)
3月25日	卒業生を送る会
年間	住宅紹介・入居・転居の支援 生活用品の貸与 ホストファミリープログラム 生活情報提供、相談



中国貧困地区の児童就学に

ご支援ください！

翟 貴生

(中国)

中国は沿海地域を中心に急速な経済成長を遂げていますが、その一方で、自然条件に恵まれない地域では、今なお衣食の問題が解決されていない人々が5,000万人いるといわれています。また、それがゆえに学校に行きたくても行けない、いわゆる義務教育の機会にも恵まれない児童たち(失学児童)が数百万人いるとも報告されています。書籍代や雑費を支払う経済力が親にないため、泣く泣く学校を辞めざるを得ない児童が毎年100万人を越しているのが現状です。

このような状況に鑑み、日中友好に尽力される日本の方々や日本にいる中国人の間で、失学児童を援助する動きが生まれました。そこで、私どもが「日中児童教育基金」を設立し、中国の貧困地区の、学校教育が受けられない児童たちへの援助活動を行なって参りました。

1995年元旦に基金が発足して以来、多くの方々のご賛同をいただき、多くのご援助を寄せていただきました。4年の間、1千3百万円以上の義援金が集められました。そのおかげで、4年間で計1,001名の「失学児童」に奨学金を送り、小学校卒業を保障することができました。また、河北省寛城滿州族自治县葦子溝郷木杖子村の「中日友好希望小学校」、貴州省仁懷市小耳溝地区の「仁懷市和子小学校」、雲南省孟連県の「南雅日中友好小学校」を修築・建設し、湖北省公安県に女子生徒が学校で寄宿しながら勉強を続ける「春蕾クラス」を設立しました。さらに貧困地域の小学校に3つの図書室を設立し、文具や音楽・体育道具を寄贈しました。現在は河北省尚義県紅土梁鎮「日中友好小学校」の修築をしているとともに、貧困地域の「失学児童」への援助を続けています。

こうした成果を実際に確認し、現地の児童たちや学校

の先生、また地域の住民達との心の通いあった実り豊かな交流を実現するため、現地に寄付者からなる訪中団も送りました。

その他、失学児童に援助するとともに、日本と中国の民間交流を促進するために、基金は寄付者と児童たちとの文通を斡旋しています。現在多数の寄付者と児童が文通を通じて交流を深めており、児童の励ましにもなっております。

基金の顧問、監査役、理事一同は皆様の暖かいご支援に心より感謝するとともに、もっと多くの児童たちが学校に戻れるよう、更なる努力を尽くす決意を固めております。

我々ボランティアのひとりひとりが善意から行なう支援は、この大きな中国を前にささやかなものでしかありませんが、支援を受けるひとりひとりの児童にとっては“運命が変わる”ほど大きなものとなるでしょう。こうした心と心の交流を通じて、相互理解と信頼関係を築き、永久の日中友好にいささかでも貢献できれば幸いです。

皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

日中児童教育基金 理事会

関 陽、徐 剛、李 述、徐 強、
翟貴生、大西史子、盧存偉、魚住すみれ

事務局：〒530-0041 大阪市北区天神橋3-1-35
南森町末広ビル7F(関ケイアイエス 内) 大西
電話：06-6881-2662； FAX：06-6881-1553
ホームページ：<http://www.come.or.jp/edufund/>
Email：edufund@cv.cs.ritsumei.ac.jp

郵便振込口座

口座番号： 00960-9-69932

口座名義： 日中児童基金





WINコンコード設立趣意書

現在社会は、政治・経済・文化のすべて分野で、地球を一つの単位として捉え、はじめて、その機能を十分に発揮しうる状況に至っていると思われます。そして、このかけがえのない地球の責任を担っているのは、たった一つの「種」に留まる

「ヒト」即ち人間であり、その一人一人の人間が確立された個として、地球の貴重な構成要素としての役割を果たすことが求められています。民族の違いは、多様な文化の豊かさを示すにすぎず、国境は行政を効率的に行うための境界にしかすぎないのです。

WINは、人間の知恵を結集し、愛すべき郷土和歌山が、人間味溢れるネットワーク（HAN Human Active Network）で結ばれた、活性化された地域となるために活動するものです。そして世界各国から勉学の間を求めて留学して来る人々に、より良い環境を整えることは、ひとつの単位となった地球上に「HAN」を構築するうえにおいても重要なことであり、これにより、地球のひとつの地域である和歌山が、世界とダイレクトに結びつき、和歌山の優れた文化が世界に紹介され地球の多様で豊かな文化環境の醸成に寄与できるのではないかと考え、我々は、WINコンコードを設立するものです。

WINコンコード事務局

〒640-0103 和歌山市加太 2201-339

TEL0734-59-3888 FAX0734-59-3889

Homepage : <http://www.infonet.co.jp/Aso/win/indexj.htm>

E-mail : win@ns.infonet.co.jp